

景況れぼうと すみだ 1 1 2

目 次

1	区内中小企業の業況 1
2	区内製造業の業況 2
3	区内卸売業の業況 4
4	区内小売業の業況 5
5	区内サービス業の業況 6
6	区内建設業の業況 7
7	区内不動産業の業況 8
8	特別調査 9

調査対象とした区内事業所数と回収状況

	調査数	回収数	未回収の理由
製造業	223	220	倒産・廃業 10
卸売業	70	67	移転・不在 0
小売業	81	77	調査拒否 0
サービス業	31	30	取引解消 0
建設業	14	14	休業 0
不動産業	19	19	その他 1
合計	438	427	

「景況れぼうとすみだ」は、一般社団法人東京都信用金庫協会が区内企業を対象に行った調査資料をもとに、墨田区が編集したものです。

発行月 = 平成 2 8 年 7 月

発行者 = 墨田区産業観光部産業経済課 ☎5608 - 6186 (直通)

平成 2 8 年 1 月 ~ 3 月期 【第 1 1 2 号】

企業における取組事例

情報提供：すみだ中小企業センター

ある衰退産業における復活への取組

皆さんは「アンチモニー製品」というものをご存知でしょうか？ 現在ではトロフィーや優勝カップ、メダルが代表的な製品となっていますが、実は東京の地場産業であり、近年、需要の減少により衰退産業になりつつあります。しかし、今、一部の製品で復活の兆しが見えてきています。たぶん、製品を見ると「ああ、これなら知っている」と言われると思われそうですが、『アンチモニー』という金属はあまり聞きなれないのではないかと思います。

『アンチモニー』とは、鉛とアンチモンの合金で、鉛が80～90%の比率で含まれています。どっしりとした重量感があり、鋳物表面（鋳肌）も極めて滑らかで、鋳造後の冷却時に収縮がほとんどないため、鋳型に彫刻されている素晴らしい模様や繊細な文字等が鮮明に仕上がるという特徴があります。

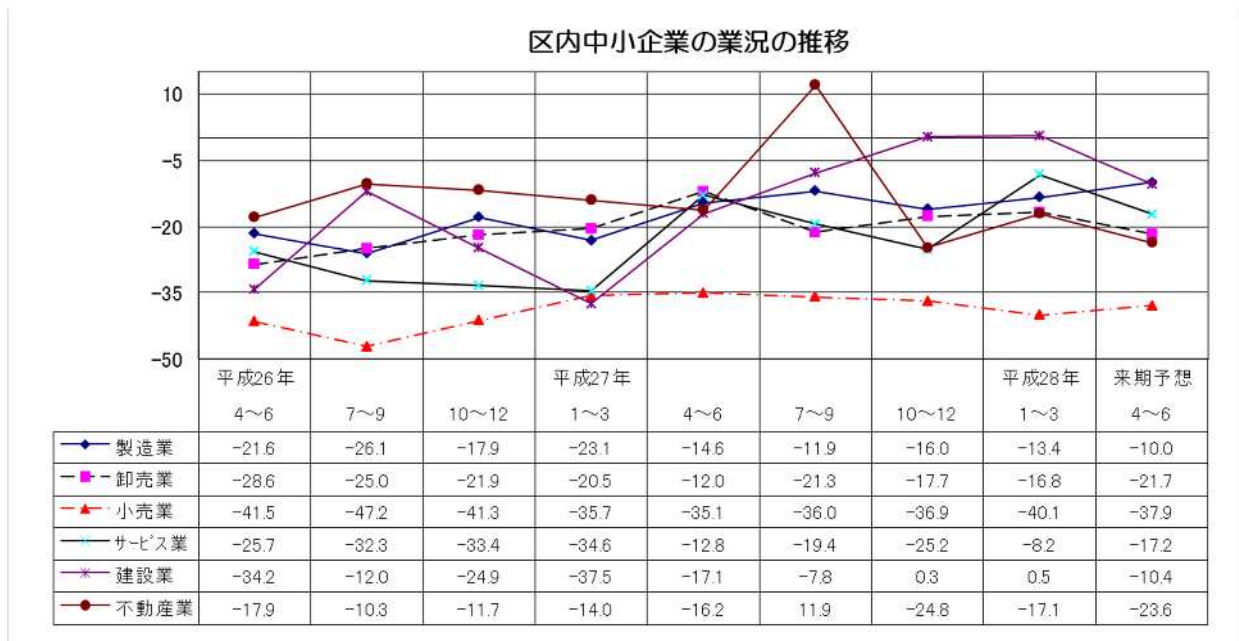
また、アンチモニー製品は、他の金属鋳物製品のどれよりもピンホール等の欠陥が少なく、メッキの乗りが良いため、金・銀・銅等のメッキを容易に施すことができるので、見栄えの良い製品を作れます。金型代も安く、大きさやデザインの割に安価に作ることができ、かなりの量産も可能で、納期も短いという特徴があります。（「アンチモニー産業の歴史と生産技術」：日本工業大学 より）

アンチモニー産業は、明治維新に徳川幕府お抱えの鋳物師・彫刻師達が、鎧・兜・刀剣などの武具に変わるものとしてアンチモニー製品の製造を始めました。戦前、戦後は輸出が盛んになりましたが、昭和45年の地金急騰を契機に、アンチモニー製品のかなりの分野が亜鉛ダイカスト鋳造品に転換しました。ダイカスト製品は硬くて丈夫であり、輸出規制ができた鉛毒問題もないので食器具分野での商品化が進んできたのです。そして、昭和46年のニクソンショックとそれ以降の円高、さらにはダイカスト製品の近隣諸国での生産量の増大と低価格供給で、アンチモニー製品の輸出はしだいに厳しい状況に追い込まれ大幅な落ち込みとなりました。

しかし、ダイカストの鋳型はアンチモニー鋳型よりも非常に長く使えるという長所がある半面、高価なため大量生産しないと一個あたりの製造コストは安くなりません。これに対して、アンチモニー鋳型はせいぜい数万個程度しか使えませんが比較的価格が安いので、少量多品種の生産に適しています。また、亜鉛ダイカスト製品は機械化・自動化が進んだのに対して、アンチモニー製品の製造では昔ながらの手法で熟練技能者の手仕事に頼らざるを得ない部分が多く、機械化・自動化も難しいことから海外展開が進まず、東京の地場産業として墨田区、葛飾区、荒川区、江戸川区などに残っています。一方でこのことは、熟練技能者の高齢化とともに技能伝承の課題を生む要因になってきています。

ところが、最近の外国人観光客の大幅な増加で、土産物としてメイド・イン・ジャパンの商品を購入する人が増え、小樽や函館の観光地や成田空港などで純国産であるアンチモニー製のオルゴールや宝石箱の売れ行きが増加しています。その需要増大により生産者側が人手不足となり、高齢者が手仕事でしていた職場に、若者が第三者承継の後継者として就業する事例が墨田区で生まれました。また、高齢化している金型屋さんの課題は、3Dプリンタの活用で活路が見え始めました。今後のこの業界の展開が楽しみであり、しばらくは目が離せません。

1 区内中小企業の業況



平成 28 年 1 月～3 月期の区内中小企業の業況は、サービス業は大きく改善した。建設業は前期並に良化し、製造業は前期に比べ、わずかに厳しさが和らいだ。不動産業は悪化幅が大きく縮小した。卸売業は前期並の悪化幅であり、小売業は悪化幅がやや拡大した。

業種別に見ると、製造業は依然として減少傾向にあるが、今期は前期に比べ悪化幅がやや縮小した。来期の業況においては、今期並の水準で改善することが予想される。

卸売業は、前期並に悪化幅が縮小し、来期の卸売業の業況は、業況感が若干落ち込むことが予想される。

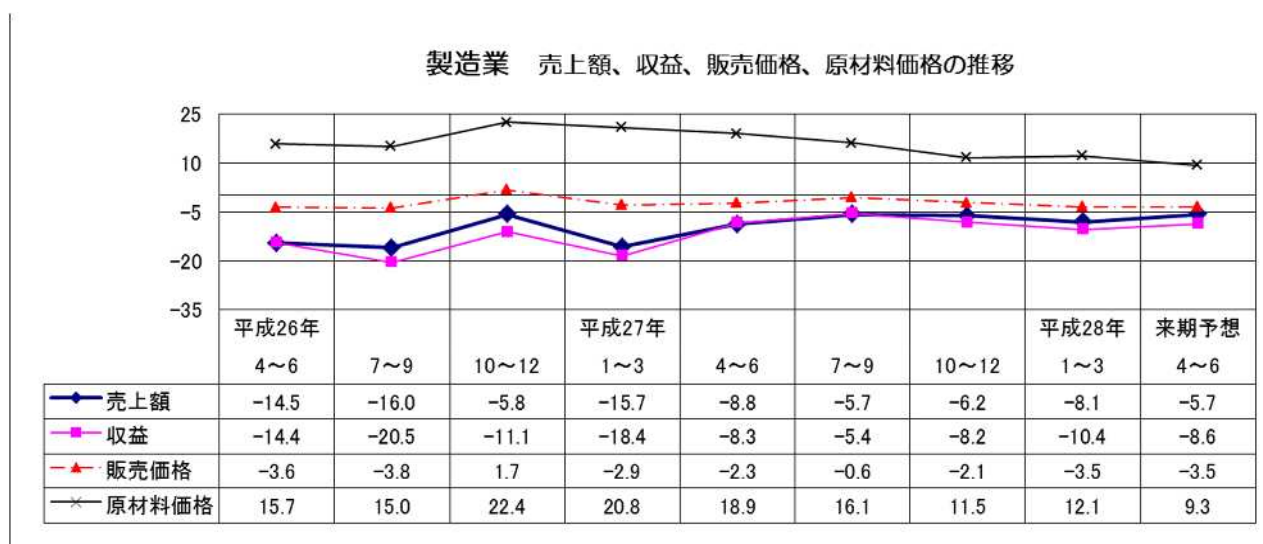
小売業において、悪化幅がやや拡大した。来期の業況においては、悪化幅がやや縮小することが予想される。

サービス業は大幅に改善したが、来期においては、悪化幅が大きく拡大することが予想される。

建設業は、前期並に良化したものの、来期においては、大きく悪化に転じると予想される。

不動産業は、前期に比べて今期は悪化幅が大きく縮小したが、来期においては、再び悪化幅が拡大すると予想される。

2 区内製造業の業況

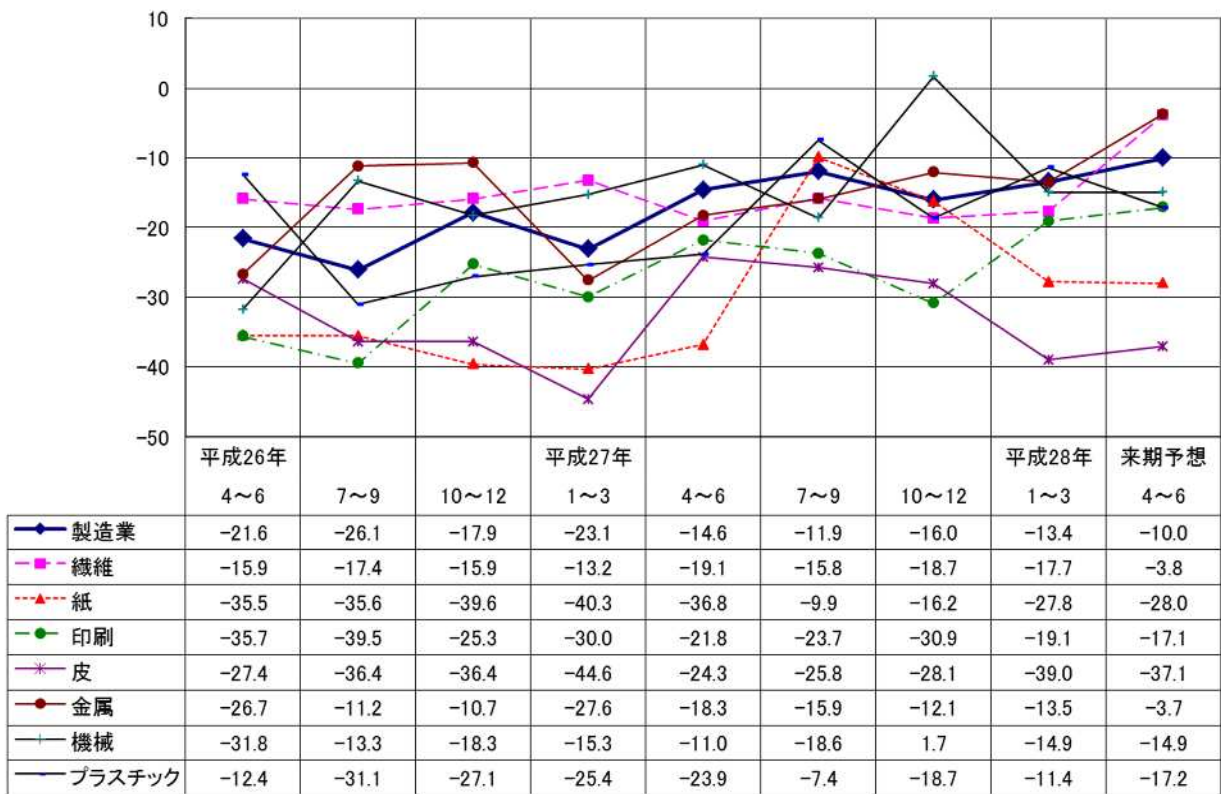


区内製造業の今期業況は、依然として減少傾向にあるが、前期に比べ悪化幅がやや縮小した。来期の業況においては、今期並の水準で厳しさが和らぐことが予想される。傾向としては、都内製造業と同様の業況感で推移することが予想される。

今期の売上額、収益及び販売価格は、減少・減益幅がやや拡大し、原材料価格は前期並の上昇幅だった。

全体的な傾向としては、来期の売上額及び収益は、減少・減益幅がやや縮小し、販売価格は今期並に下降すると予想される。原材料価格は、今期と比較して上昇幅がやや縮小すると見られる。

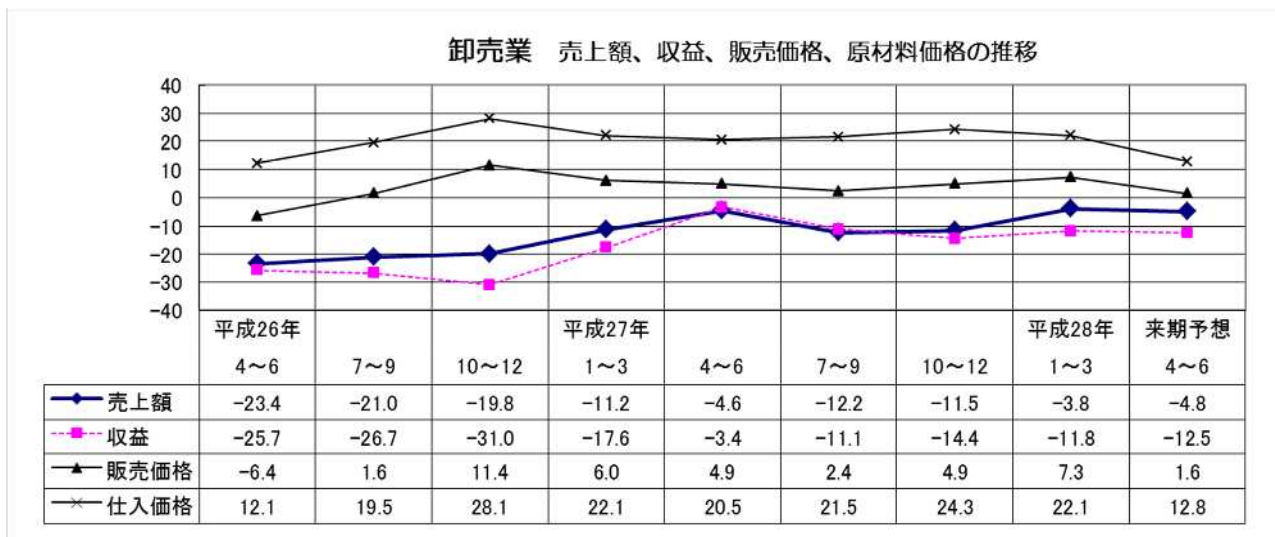
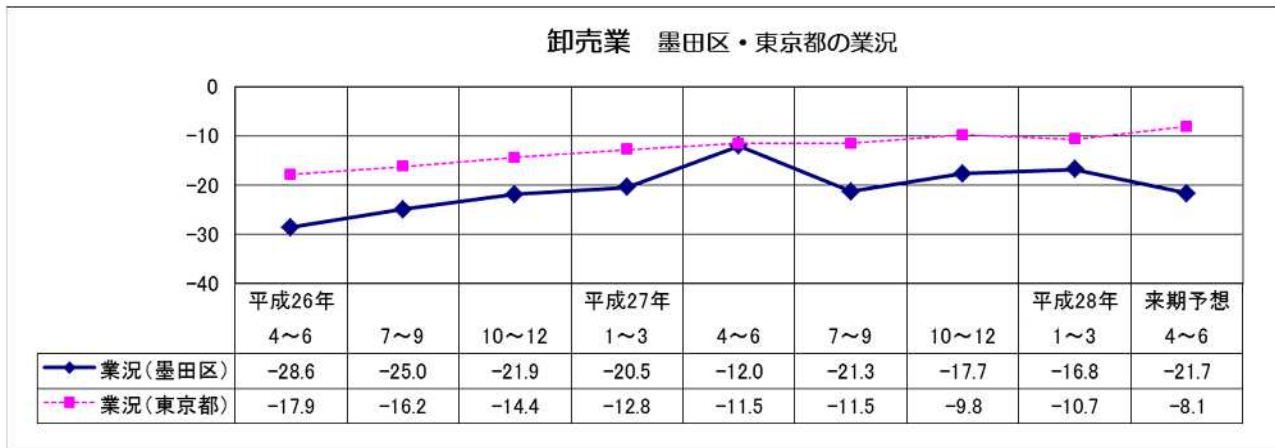
製造業 業種別業況の推移



区内製造業の業況を業種別に見ると、印刷（出版、印刷、製版、製本業）は、非常に大きく改善し、プラスチック（プラスチック製品）は、悪化幅が大幅に縮小した。繊維（繊維工業、衣服・その他繊維製品）、金属（金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業）は、前期と同様の水準で推移した。紙（パルプ・紙、紙加工品）、皮（なめし皮・同製品・毛皮）は、悪化幅がかなり拡大した。機械（一般機械器具、金型）は、大きく悪化に転じた。

来期において、繊維（繊維工業、衣服・その他繊維製品）及び金属（金属プレス、メッキ・彫刻、熱処理業）は、大幅に改善に向かい、印刷（出版、印刷、製版、製本業）及び皮（なめし皮・同製品・毛皮）は、今期並の水準で悪化幅が推移すると予想される。紙（パルプ・紙、紙加工品）及び機械（一般機械器具、金型）は、今期と横這いの悪化幅で推移し、プラスチック（プラスチック製品）は、悪化幅がやや拡大すると予想される。

3 区内卸売業の業況

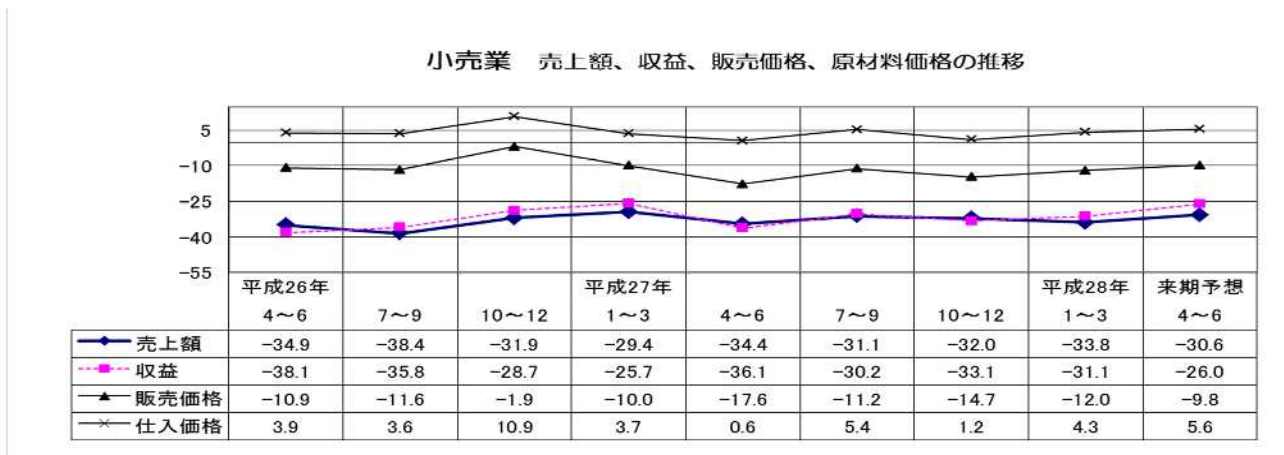
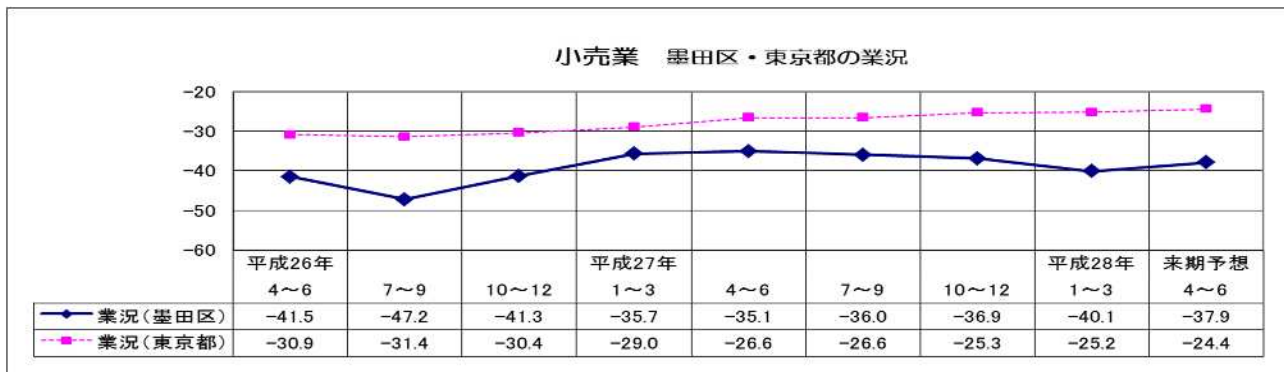


区内卸売業の今期業況は、前期並に悪化幅が縮小し、来期は悪化幅がやや拡大すると予想される。傾向としては、都内卸売業に比べやや低い水準にあり、来期は都内卸売業に比べ大きく落ち込むことが予想される。

今期の販売価格は、上昇幅がやや拡大し、仕入価格は上昇がやや弱まった。売上額は、悪化幅が大きく改善し、収益は減少幅がやや縮小した。

全体的な傾向としては、来期の売上額及び収益は、今期同様の水準で推移することが予想される。来期の販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇幅がかなり縮小すると予想される。

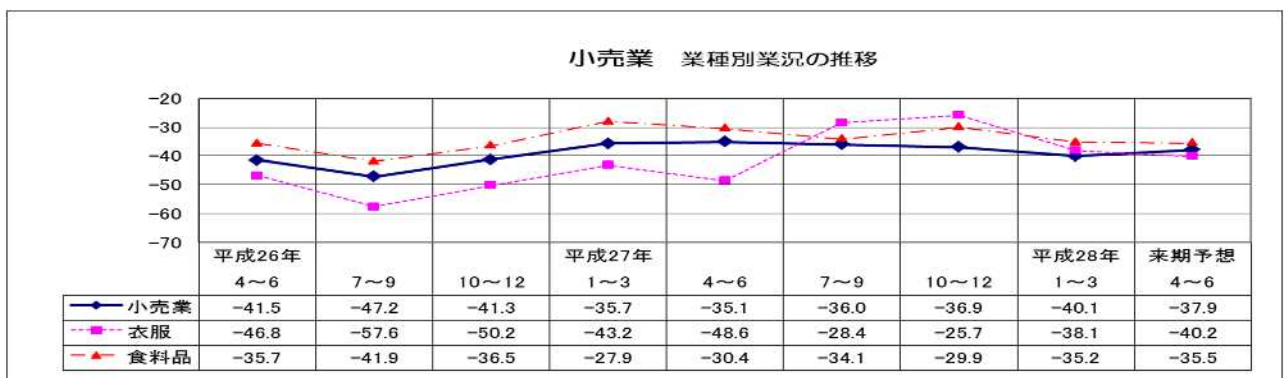
4 区内小売業の業況



区内小売業の今期業況は、悪化幅がやや拡大した。来期は、悪化幅がわずかに縮小すると予想される。

今期の売上額は、前期同様の水準であった。収益及び販売価格は、減少・下降幅がやや縮小し、仕入価格は上昇幅がやや縮小した。

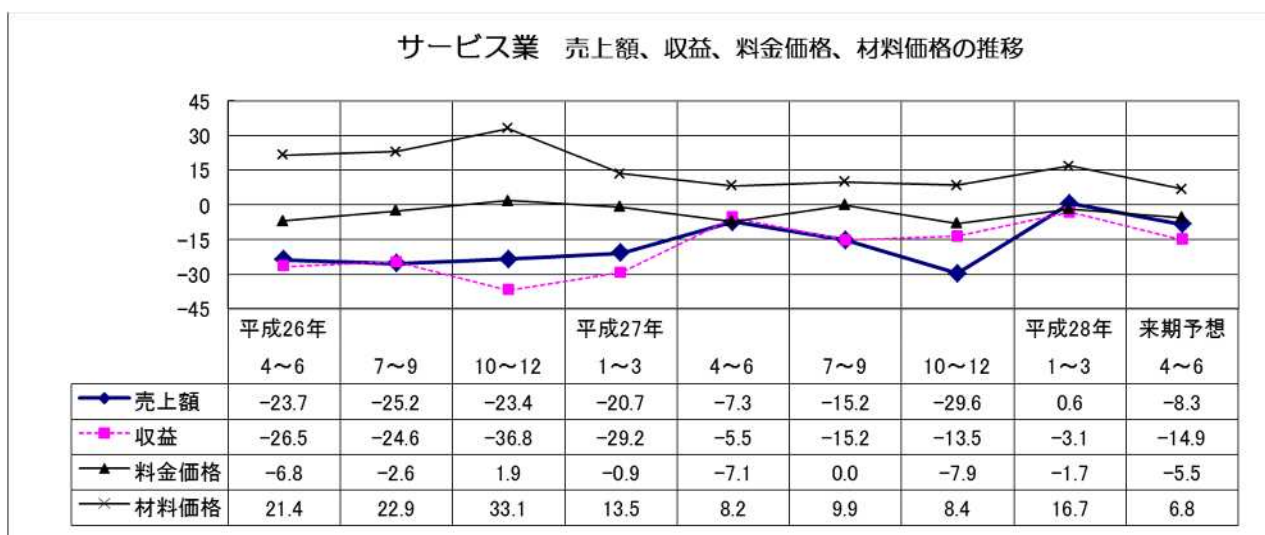
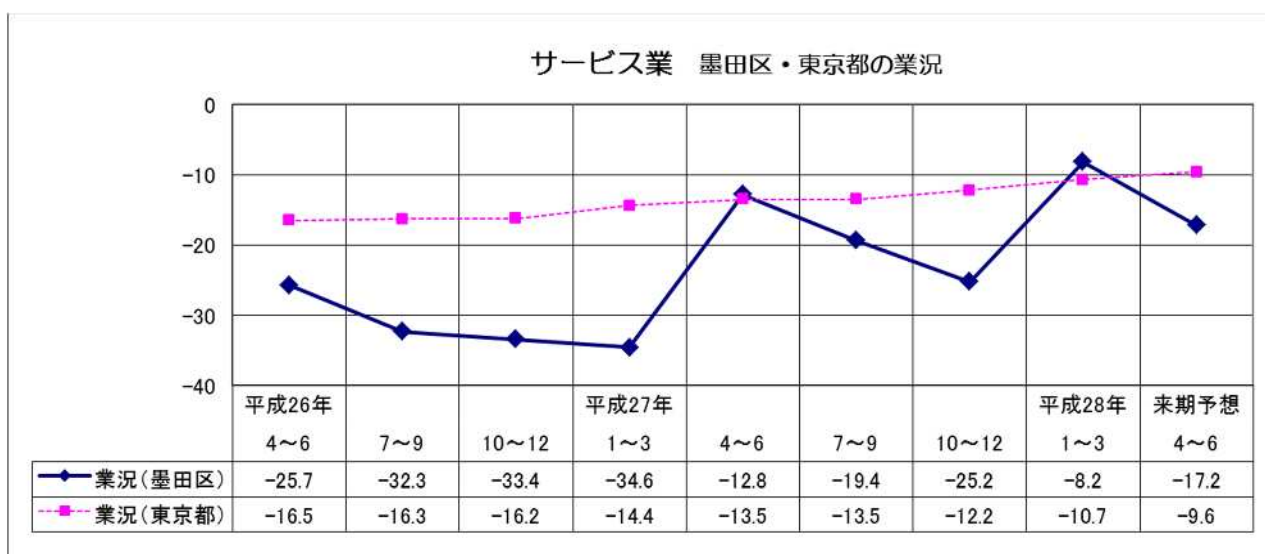
来期の仕入価格はほぼ横這いで推移し、売上額及び収益は減少・減益幅がやや縮小すると予想される。販売価格は、下降幅がやや縮小すると予想される。



区内小売業の業種別今期業況は、衣服（呉服、身の回りの品）及び食料品（飲食料品）は業況感が大きく落ち込んだ。

来期においては、衣服（呉服、身の回りの品）は悪化幅がやや拡大し、食料品（飲食料品）は、今期並で推移すると予想される。

5 区内サービス業の業況

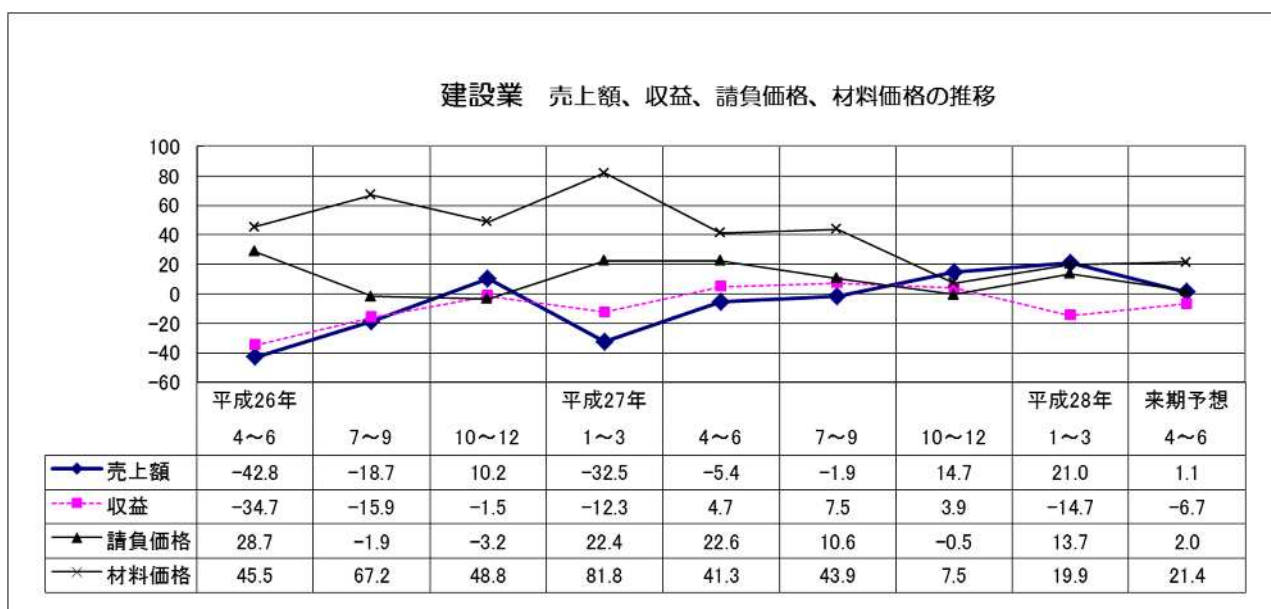
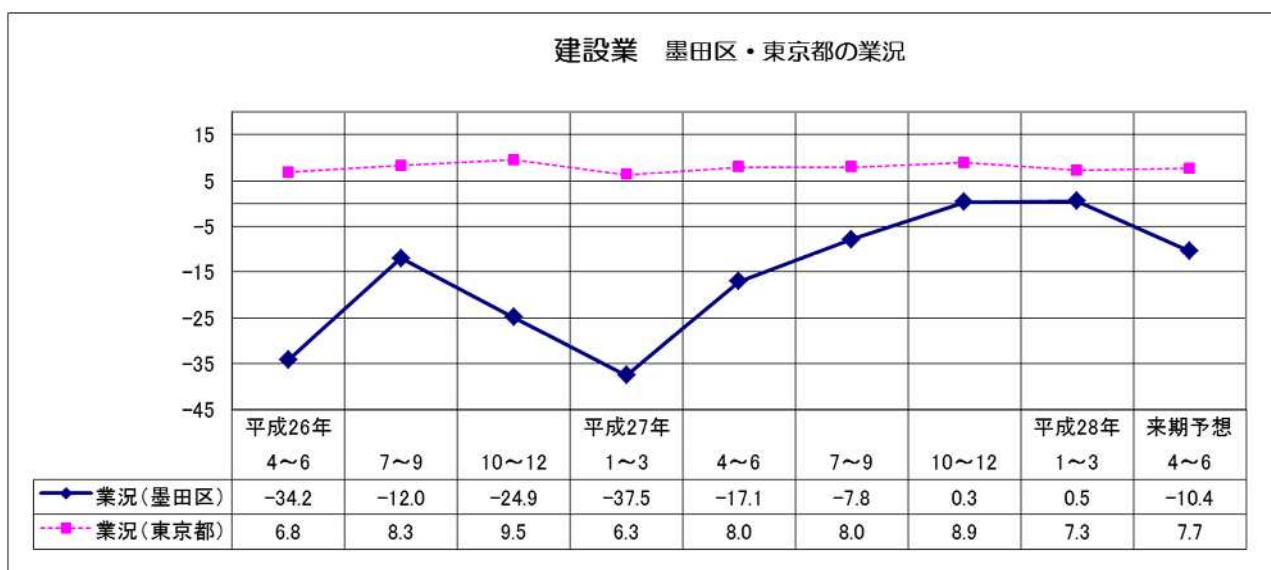


区内サービス業の今期業況は、大幅に改善した。来期においては、悪化幅が大きく拡大すると予想される。

今期の売上額は、非常に大きく好転した。材料価格は、上昇幅が大きく拡大し、収益及び料金価格は、減益・下降幅がかなり縮小した。

全体的な傾向として、来期の売上額は増加から減少に転じ、収益及び料金価格は減益・下降を強めると予想される、材料価格は、上昇幅が大きく縮小すると予想される。

6 区内建設業の業況

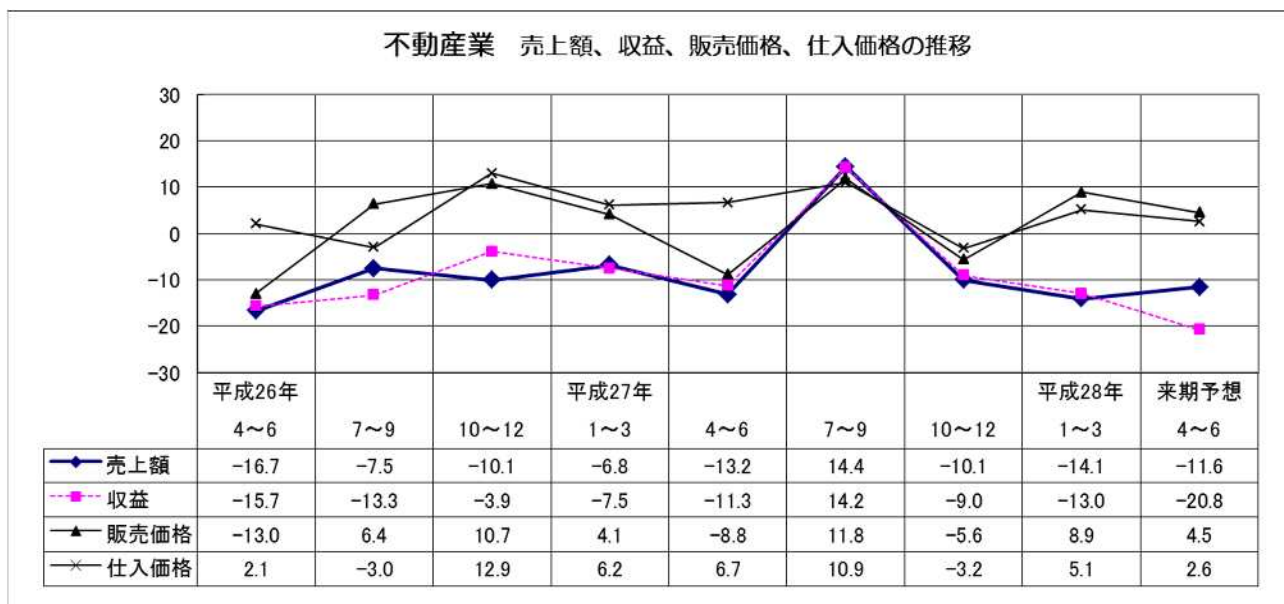
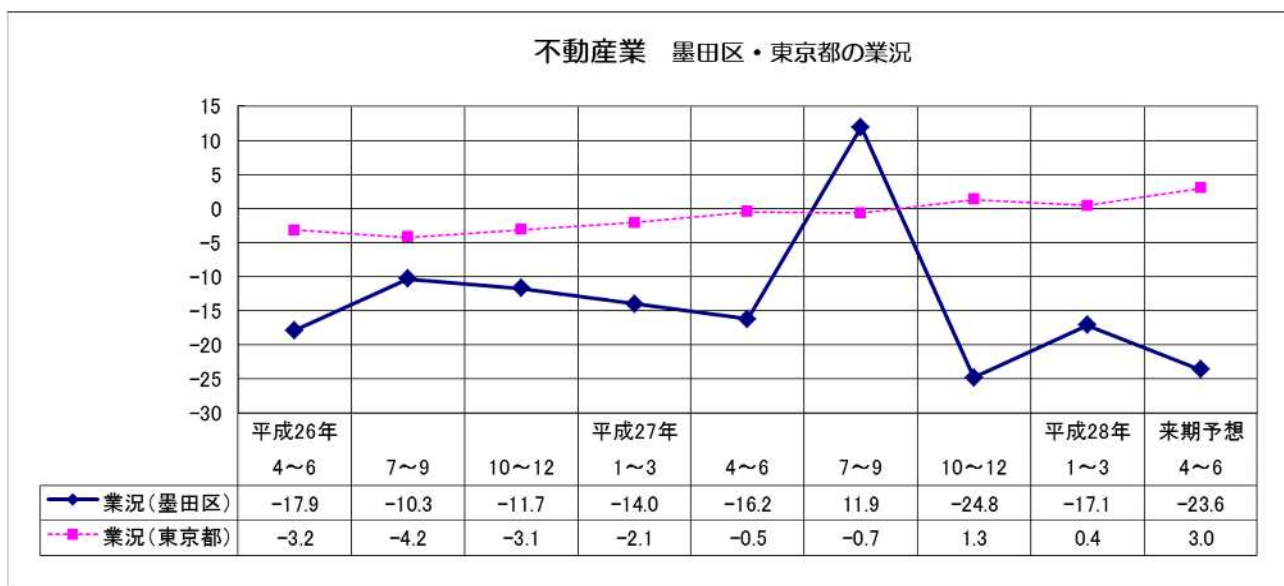


区内建設業の今期業況は、前期並に良化した。傾向としては、都内建設業に比べて低い水準で推移してきたが、来期においては、都内建設業に比べ大きく落ち込むことが予想される。

今期の売上額及び材料価格は、増加・上昇傾向を大きく強め、請負価格は大きく好転した。収益は、増加から大幅に減少に転じた。

全体の傾向として、来期の材料価格は上昇幅がやや拡大し、収益は減益幅が大きく縮小すると予想される。売上額及び請負価格は、上昇幅が大幅に縮小すると予想される。

7 区内不動産業の業況



区内不動産業の今期業況は、悪化幅が大きく縮小したが、来期は悪化幅がやや拡大することが予想される。

今期の販売価格及び仕入価格は、上昇に転じ、売上額及び収益は、減少幅がやや拡大した。

全体の傾向として、来期の売上額は、悪化幅がやや縮小することが予想される。販売価格及び仕入価格は、上昇が弱まり、収益は減少幅がやや拡大することが予想される。

8 特別調査（中小企業の将来を見据えた事業継承について）

平成28年1月～3月期 調査

1 社長(代表者)の年齢階層と後継者問題

	回答数	20歳代 30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上		後継者は すでに 決まっている		後継者はいる が、まだ決 まっていない		候補者が 見当たらない		まだ考えて いない		後継者は 必要ない (事業譲渡、 廃業予定等)		
総数	423	7	1.7	50	11.8	89	21.0	151	35.7	126	29.8	119	28.1	94	22.2	41	9.7	115	27.2	41	9.7	
業 種	製造業	217	1	0.5	27	12.4	58	26.7	78	35.9	53	24.4	63	29.0	51	23.5	16	7.4	60	27.6	17	7.8
	卸売業	67	2	3.0	9	13.4	16	23.9	24	35.8	16	23.9	16	23.9	18	26.9	6	9.0	20	29.9	7	10.4
	小売業	76	1	1.3	6	7.9	10	13.2	18	23.7	41	53.9	18	23.7	13	17.1	13	17.1	16	21.1	13	17.1
	サービス業	30	2	6.7	2	6.7	3	10.0	15	50.0	8	26.7	9	30.0	6	20.0	4	13.3	8	26.7	3	10.0
	建設業	14	0	-	3	21.4	0	-	7	50.0	4	28.6	6	42.9	3	21.4	1	7.1	4	28.6	0	-
	不動産業	19	1	5.3	3	15.8	2	10.5	9	47.4	4	21.1	7	36.8	3	15.8	1	5.3	7	36.8	1	5.3

2 事業承継の考え方

	回答数	子供(娘婿な どを含む)に 承継		その他の同族 者(兄弟、親 戚など)に 承継		非同族の役員、従業員に 承継		非同族の社外 の人材に承継		M&A (第三者への 事業譲渡)等		忙しくて考える 余裕がない		何から手をつ けて良いか わからない		身近に 相談相手が いない		現時点で、 考えるつもり はない		現在の事業を 継続するつもり がない		
総数	421	168	39.9	30	7.1	43	10.2	3	0.7	4	1.0	22	5.2	23	5.5	4	1.0	82	19.5	42	10.0	
業 種	製造業	217	82	37.8	18	8.3	25	11.5	1	0.5	3	1.4	13	6.0	12	5.5	2	0.9	46	21.2	15	6.9
	卸売業	65	21	32.3	6	9.2	11	16.9	0	-	0	-	3	4.6	3	4.6	0	-	14	21.5	7	10.8
	小売業	76	34	44.7	3	3.9	2	2.6	1	1.3	1	1.3	2	2.6	7	9.2	1	1.3	11	14.5	14	18.4
	サービス業	30	14	46.7	0	-	2	6.7	1	3.3	0	-	4	13.3	1	3.3	1	3.3	4	13.3	3	10.0
	建設業	14	6	42.9	0	-	3	21.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	21.4	2	14.3
	不動産業	19	11	57.9	3	15.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	4	21.1	1	5.3

3 事業承継に関する情報や知識の入手先

	回答数	新聞・書籍		インターネット		取引先 金融機関		商工会議所 ・商工会		国・地方公共 団体および その外郭団体		専門家 (税理士等)		取引先企業		コンサルタント 企業		その他		特になし		
総数	421	65	15.4	68	16.2	119	28.3	42	10.0	5	1.2	148	35.2	21	5.0	10	2.4	1	0.2	108	25.7	
業 種	製造業	218	31	14.2	32	14.7	69	31.7	30	13.8	3	1.4	80	36.7	6	2.8	5	2.3	1	0.5	45	20.6
	卸売業	66	15	22.7	13	19.7	16	24.2	2	3.0	1	1.5	21	31.8	8	12.1	3	4.5	0	-	17	25.8
	小売業	75	9	12.0	9	12.0	21	28.0	7	9.3	1	1.3	27	36.0	2	2.7	0	-	0	-	26	34.7
	サービス業	30	4	13.3	8	26.7	5	16.7	1	3.3	0	-	11	36.7	3	10.0	1	3.3	0	-	8	26.7
	建設業	13	2	15.4	3	23.1	2	15.4	1	7.7	0	-	4	30.8	1	7.7	0	-	0	-	5	38.5
	不動産業	19	4	21.1	3	15.8	6	31.6	1	5.3	0	-	5	26.3	1	5.3	1	5.3	0	-	7	36.8

4 事業承継を行おうとする際の課題点

	回答数	事業の将来性			取引先との信頼関係の維持		社員の不平・不満		先代経営者の影響力		後継者の力量不足		借入れに際しての個人保証・担保		相続税などの税金対策		自社株など個人資産の取扱い		特になし		その他	
総数	421	235	55.8	134	31.8	21	5.0	22	5.2	53	12.6	81	19.2	53	12.6	35	8.3	60	14.3	10	2.4	
業種	製造業	216	124	57.4	70	32.4	12	5.6	13	6.0	24	11.1	45	20.8	29	13.4	18	8.3	24	11.1	3	1.4
	卸売業	67	36	53.7	28	41.8	4	6.0	2	3.0	10	14.9	15	22.4	2	3.0	11	16.4	10	14.9	4	6.0
	小売業	75	39	52.0	19	25.3	4	5.3	5	6.7	8	10.7	10	13.3	10	13.3	4	5.3	14	18.7	2	2.7
	サービス業	30	19	63.3	5	16.7	0	-	2	6.7	3	10.0	6	20.0	6	20.0	2	6.7	5	16.7	1	3.3
	建設業	14	7	50.0	6	42.9	1	7.1	0	-	4	28.6	5	35.7	3	21.4	0	-	2	14.3	0	-
	不動産業	19	10	52.6	6	31.6	0	-	0	-	4	21.1	0	-	3	15.8	0	-	5	26.3	0	-

5 事業承継で信用金庫に期待すること

	回答数	後継者教育・セミナー等			個別相談		専門家(税理士等)の紹介		事業譲渡先の紹介		事業承継前後の個人保証・担保の対応		早期の事業承継の準備への助言等		承継後の事業計画の策定への助言等		自社の問題であるため自社で解決		特に期待していない		その他	
総数	420	64	15.2	133	31.7	22	5.2	1	0.2	14	3.3	40	9.5	23	5.5	43	10.2	72	17.1	8	1.9	
業種	製造業	217	32	14.7	72	33.2	15	6.9	0	-	4	1.8	25	11.5	13	6.0	20	9.2	34	15.7	2	0.9
	卸売業	67	8	11.9	22	32.8	1	1.5	0	-	7	10.4	5	7.5	4	6.0	6	9.0	11	16.4	3	4.5
	小売業	74	13	17.6	25	33.8	2	2.7	1	1.4	0	-	2	2.7	3	4.1	8	10.8	19	25.7	1	1.4
	サービス業	30	4	13.3	6	20.0	3	10.0	0	-	1	3.3	4	13.3	1	3.3	5	16.7	4	13.3	2	6.7
	建設業	13	2	15.4	2	15.4	0	-	0	-	2	15.4	2	15.4	1	7.7	2	15.4	2	15.4	0	-
	不動産業	19	5	26.3	6	31.6	1	5.3	0	-	0	-	2	10.5	1	5.3	2	10.5	2	10.5	0	-